Ephphatha!
日本基督教団エパタ教会　季報
No.21
夏の号
〒162-0805 東京都新宿区矢来町 25 ☎ 03-3260-5222 ✉ ephphatha.church.tyo@gmail.com
2017 年 8 月 27 日発行

分け隔てなく共に生きるために

―キリスト教の“伝道”を考え直す―

エパタ教会牧師　亀岡　顕

● 宗教による差別をめぐるイエスと教会の違い

「だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」（マタイ 11：28）。イエスは「誰もが神に愛され受け入れられている」と主張して、律法の守り方如何によって義人 / 罪人と人間を二分するユダヤ教のやり方に真っ向から立ち向かって“分け隔て”を撤廃しました。

イエスが目指したことは十字架で殺された彼を「キリスト・メシア」と信じる者たちによって引き継がれていくはずでした。しかし初代教会が力を入れて取り組んだのは、イエスが“救い主”であることを宣べ伝えて人々に悔い改めを迫り、洗礼を授けて“罪の赦し”を宣告し、人々をイエス・キリストの弟子（信者＝教会員）とするための活動を推進していくことでした。

この“伝道”と呼ばれるキリスト教会の布教活動にはいろんな問題点があると指摘されています。最も大きな問題は「伝道はイエスが取り除いた“分け隔て”を復活させてしまった」という点です。

● “洗礼”による差別

「どなたも招かれています」という教会への招きが実は条件付きであることが明らかになるのが「まだ洗礼を受けて教会員となっていない方は聖餐にあずかることはできません」という台詞です。私もこう言ったとたん席を立たれる心痛める体験を何度かしました。

洗礼は初代教会が入会儀式としてバプテスマのヨハネが行っていた浸礼を取り入れたことに始まります。当初その教会の会員となって活動し組織の維持に協力していく決意のしるしとされていた洗礼にやがて「罪のゆるしを得させる」という意味が付け加えられ「キリスト教の信徒になるための儀式」とされ、洗礼を受ければその人はクリスチャンである、ということになって人間を洗礼を受けて救われる人とそうでない人に二分するものとなりました。そして「すべての民をわたしの弟子にしなさい」（マタイ 28：19）をイエスからの指令と受け止めた教会は、すべての人に洗礼を授けてクリスチャンとすることを最終目標にした伝道を推し進めることによって洗礼による分け隔てを限りなく続けていくことになりました。

● “洗礼を受けていない人でもクリスチャン”

キリスト教は刑死したイエスをキリストと信じる宗教として成立しました。生前のイエスは神の国を宣べ伝える宣教者でしたが、初代教会においてはキリストが宣教の対象となりました。従ってキリスト教の中には①イエスのやり方を大切にしていく。②組織としての教会を維持・発展させていくため“伝道”していく、という二つの流れがあります。このどちらを重視するかによって宣教のし方が変わってきます。かつては（A）神―教会―世界というとらえ方が優勢でした。この考え方によれば、神に至る唯一のチャンネルである教会に洗礼を受けてつらなることが救いですから、洗礼による分け隔ては依然として続くことになります。

今日では（B）神が進める救済計画を教会はこの世にある機関の一つとして誠実に果たしていく [神―世界―教会] というとらえ方が広がってきています。この理解では教会への入会儀式である洗礼はクリスチャンとなるための不可欠の条件でなくなります。自分を招いてくれている神を心から信頼する人はクリスチャンであり、聖餐の恵みを感謝して受けることができます。

● これからの伝道　―私たちにできること―

私たちがなすべき伝道は、イエスの生き方を自らの生き様を通してまわりの人たちに紹介してイエスのように生きようと志す仲間の輪を拡げていくというし方で神による救いの計画を担っていくことです。その際私たちに必要なのは「みこころが地上で行われるようにする」ために様々な分け隔てを乗り越えてできるだけ多くの人たちと力を合わせていく柔軟な心・姿勢です。

サンデーカフェ・エパタ 始めます

〇生きることを学ぶ場としての教会

備えられた新会堂で日曜礼拝を開始してから５年が過ぎようとしています。この間エパタ教会が大切にしてきているのは《イエスと“生きる”。教会に“生きる”。社会に“生きる”》ことです。

私たちは日曜礼拝を中心として聖書に学び祈りあい話し合うことを通して神によって「生かされているいのち」をどう用いるかについて考え、現代社会を生きるたくさんの人々とかかわりあうためのよりよい考え方や働き方を身につけようとしています。そして私たちは与えられているいのちを活用していくための模範としてイエスに倣って、互いに助け合って、それぞれの生活を「生きる」という課題に取り組んでいます。

〇さらに交わり・学びの輪を拡げていくいために

イエスの生き方を手がかりに“生きる”ことを考えいていくこの取り組みに一人でも多くの方々が加わることが私たちの祈り・願いです。毎日曜礼拝後エントランスでの楽しい交わりの時を感謝しながら、どうしたらこの場に他（外部）の方たちをお迎えすることができるだろうか、そのためには何をしたらいいのかと思案しています。

今日、ますます増えてきている生きにくさを感じている人たちとの“共生”を目指すことは教会の大切な働きの一つです。人間らしく生きることを妨げられている人たちが、「自分もそこに居ていいのだ」と感じて集まり、気軽に出入りし、心おきなく対話を交わす中でイエスと出会えるような場所・広場のようなものをエパタ教会は用意できないものかと模索しています。

〇まず、できることからやってみよう

７月 30 日礼拝後の懇談会で話し合った結果、この長年あたためてきた思いを実施するため“いと小さな一歩”を踏み出そうと『サンデーカフェ・エパタ』を始めることを決め、次のようなことを確認し合いました。

1. 毎礼拝後の「お茶の会・ティータイム」の規模や時間を拡大・延長した“話し合い・分かち合い”の場を月１回（原則として最終日曜）開催し、外部の方たちに参加を呼びかけていく。
2. 第１回を９月２４日礼拝後～ 16：00 頃まで行う。
3. 12 月までの予定・計画
   ① 第２回 10 月 29 日
   ② 第３回 11 月 19 日「献堂５周年感謝礼拝･愛餐会」の後、「シネマ・エパタⅨ」（15：00 ～　）までの時間帯に開催する。
   ③ 第４回 12 月 17 日クリスマスについて“本音”を語り合う他、いろんな種類のクリスマスミュージックを聞くなど、おぼえ方の多様性を体験し楽しむ。

サンデーカフェ・エパタのご案内

第１回　９月 24 日（日）12：30 ～ 16：00

エパタ教会エントランス＆礼拝堂
コーヒー、お茶を飲みながら自由なおしゃべりの時をもちます。
話題はキリスト教に対する疑問、質問、批判、教会に対する希望、不満、文句、言いたいこと、その他なんでも……

＊どうぞお気軽にご参加ください（お越しになれる時間にいつでも）。
参加費無料